

吉田 沙保里

YOSHIDA SAORI

10月5日生まれ。三重県津市出身。日本のレスリング選手兼コーチ。女子レスリング個人で世界大会16連覇、個人戦206連勝を記録。2012年には13大会連続世界一でギネス世界記録認定、国民栄誉賞受賞を成し遂げた。紫綬褒章受章者(2004年、2008年、2012年)。中央女子大学(現・至学館大学)副学長を務める。2016年リオデジャネイロ五輪では日本選手団主将を務め、同年9月には現役を続行しつつ、レスリング女子日本代表コーチに就任した。

夢や目標に向かってあきらめず、最後まで頑張ればきっと良い成果が返ってくる。たとえ叶わなかったとしても、それは決して無駄にはなりません。



コーティングは、体力と集中力を使う仕事。アスリートと似ていますね。

昨年のキーパー技術コンテストで全国優勝した安藤祐子さんとキーパーのWebCMで共演させていただきました。すごく大人しくてニコニコと笑顔が素敵な女性でした。そこではじめてキーパーコーティングの作業を見ただけですが、小柄な身体を大きく動かして、塗ったり拭いたりを繰り返して、想像以上に体力と集中力を使う仕事なんだということを知りました。今回はじめて「キーパー技術コンテスト」全国チャンピオン決定戦の準決勝を見て、改めて女性が全国チャンピオンになったことのが実感しました。

私はフィジカルが強いと思われるけど、



吉田沙保里さん出演のWeb動画が、YouTubeでご覧いただけます！
吉田沙保里さんがキーパーコーティングを体験！昨年のキーパー技術コンテスト全国チャンピオンの安藤祐子さんのコーティング施工を吉田さんがレポートするWeb動画をYouTubeで見ることができます。ぜひチェックしてみてください！

YouTube内 で検索!

いつも新車のように、気持ちよく乗れるのが、本当にうれしいです。

WebCMの撮影が終わって、昨年10月ごろに私の車にダイヤモンドキーパーを施工してもらいました。昨年1月に買った新車だったので、そん

ますが、実は強くなって、スピードと技で勝負するタイプです。試合をすればするほど、自分がどんな動きができて、得意なのかが分かります。勝てる試合ができるようになります。しかし、思い通りにならないこともあるので、その時は感覚的に戦う場合もあります。そんな時は身体が感覚的に覚えていないと動けません。コーティング作業をする皆さんと似ているかもしれませんね。このコンテストのために、筋トレやジョギングをしたり、体重をしばったりする方もいらっしゃると思います。1人で1台作業するのは本当に大変だと思います。はじめのうちは腰やひざを痛めたり、腕が張ったりしますよね。でも日々の作業を何度も続けるうちに力が入れ具合とかコツをつかんで上達していく。それはアスリートに共通する部分だと思っています。

父に「やめたい」なんて言えない…。練習つけの小学校時代。

私がレスリングをはじめたのは、3歳のとき。父親がレスリングの全日本チャンピオンで、2人の兄もレスリングをしてました。私は末っ子でしたが、何しろ家に道場があるので逃げるわけにはいきません。小学校のときは、夕方5時までに帰らなければ、鍵を閉められていました。友達とはもちろん遊べず、帰宅すると宿題をして、ご飯を食べる練習です。いつも嫌だなと思っていました。ある日、我慢ができなくなると母に「もう嫌だ、やめたい」と言ったら、「やめたいなら、お父さんに言いなさい」と返されました。父にやめたいなんていったらどうなるか…。恐ろしく練習をしていました。

※「キーパー技術コンテスト」全国チャンピオン決定戦に、吉田沙保里さんが応援にきてくださいました！



洗車キーパーコーティングを開発する「Keeper」技術が開発する、全面のガラススタンドのキーパーコーティング技術者が、技術を競うコンテスト。全国各地で予選会が行われた後、各都道府県チャンピオン決定戦、全国チャンピオン戦を行い、各都道府県アンバーワン、全国アンバーワンが決定します。今年で5回目を迎え、参加者は3000人を超えます。4月25日(水)、26日(木)の2日間、愛知県大府市のKeeper技術本社にある愛知トレーニングセンターで、全国チャンピオン決定戦が行われ、吉田沙保里さんがサプライズゲストとして応援に来てくださいました。

